学校番号	303

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)歌唱表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「キミウタ」　（教育芸術社）						
副教材等	配布プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歌を歌う活動を中心として、幅広い音楽表現を身に付ける授業です。楽器演奏も少し行います。基本的な発声法を学び、ボイスアンサンブルや様々な合唱曲に取り組むことで、音感やリズム感、ハーモニー感など、歌唱に関わる諸能力を高める授業です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	イメージをもって豊かな声で歌おう	「Believe」 「翼をください」 「夢の世界を」 「大切なもの」 「君をのせて」	a: 歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージをもって合唱するために必要な発声法や呼吸法を身に付けている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表
	三部合唱のハーモニーを味わおう	「ぜんぶ」 「信じる」	a: 三部合唱に必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方、言葉の伝え方）を身に付けて、創造的に表現している。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表
	世界の諸民族の音楽を観賞しよう	インドネシア「ケチャ」 モンゴル「ホーミー」 スイス「ヨーデル」	a:曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c:楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

二学期	ボイスアンサンブルを楽しもう	ゴスペル 「チェリー」 「WINDING　ROAD」	a: ボイスアンサンブルに必要な技能を身に付け、グループで協力して、歌唱表現を行っている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:ハーモニーを作る喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表
	四部合唱のハーモニーを味わおう	「聞こえる」 「きみがきみに歌う歌」	a: 四部合唱に必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方、言葉の伝え方）を身に付けて、創造的に表現している。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表
	日本の伝統音楽を観賞しよう	歌舞伎長唄「これやこの」 箏曲「千鳥の曲」 民謡「八木節」 能「安宅」	a:曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c:楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

三学期	ボイスアンサンブルを発表しよう	「夜空ノムコウ」 「シークレットベース」	a: ボイスアンサンブルに必要な技能を身に付け、グループで協力して、歌唱表現を行っている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:ハーモニーを作って発表する喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度